

参 考 資 料

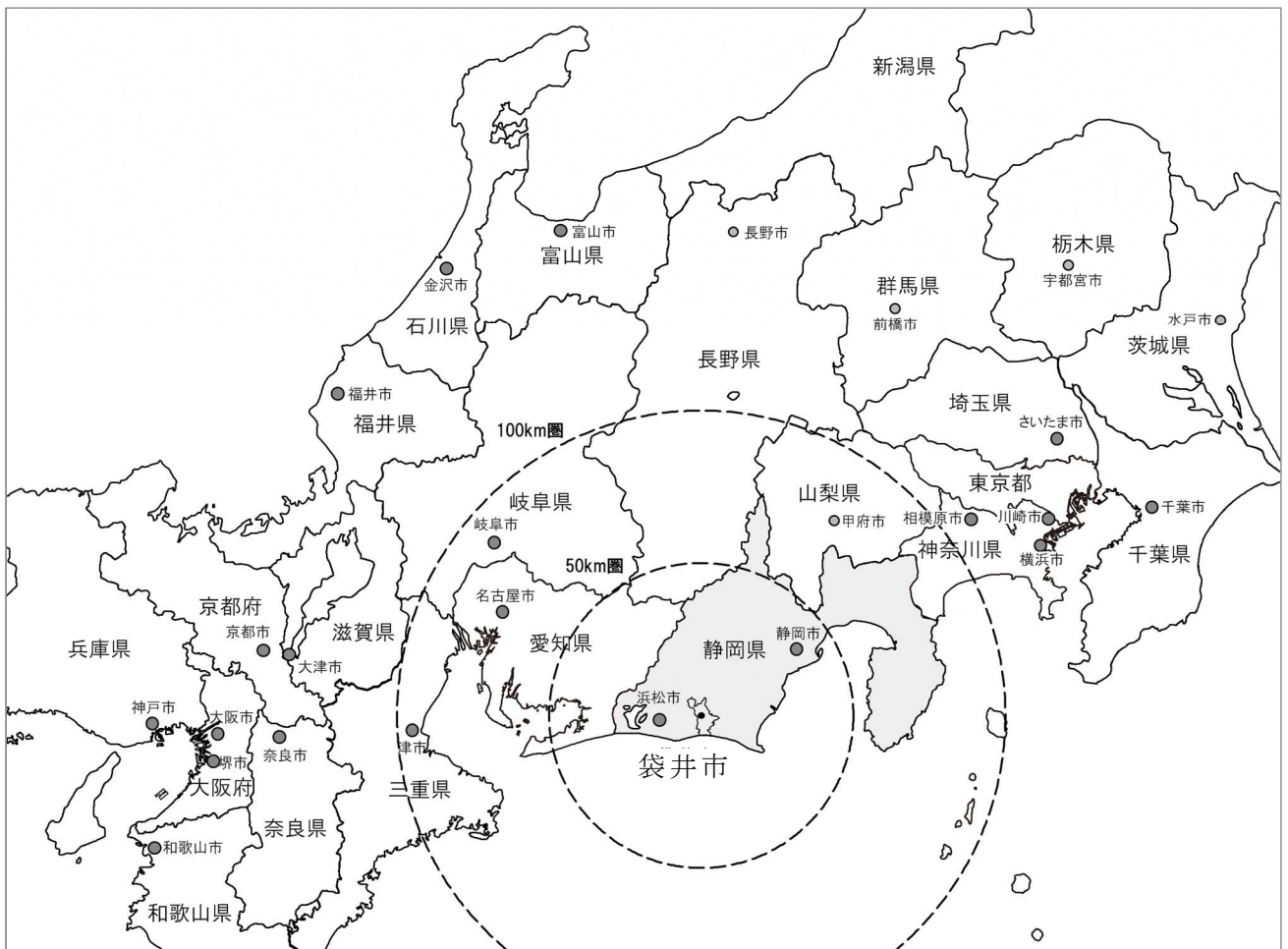
1

袋井市の現況

1. 位 置

本市は、日本の国土のほぼ中央に位置し、東西約 15km、南北約 17km の市域をもち、面積は 108.56km² となっています。県内では、中東遠地域に属しており、南は遠州灘に面し、東は掛川市、西は磐田市、北は森町に接しています。ＪＲ東海道新幹線、ＪＲ東海道本線、東名高速道路、国道 1 号、国道 150 号が市域を東西に貫通し、東名高速道路袋井ＩＣが開設しています。

■本市の位置



資料：都市計画マスタープラン

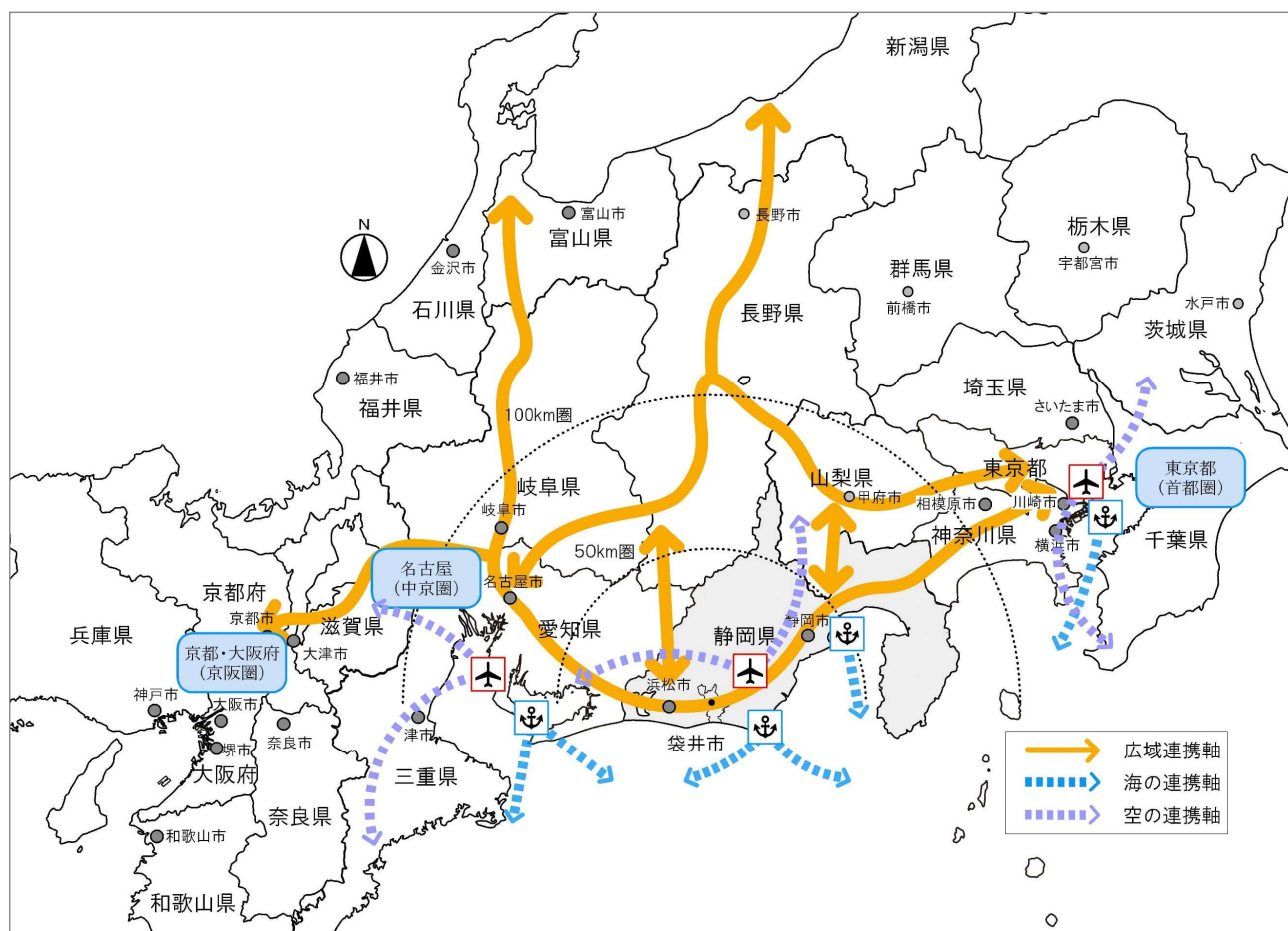
2. 都市圏・周辺市町との連携・交流

2-1. 都市圏との広域的な連携・交流

本市は、本市と大都市圏（首都圏、中京圏、京阪圏）を結ぶ、国土形成の骨格を成す新東名高速道路、東名高速道路、国道1号、国道150号、JR東海道新幹線、JR東海道本線等の広域連携軸が横断しています。これら広域連携軸により陸（主要都市）・海（主要な港）・空（空港）の3つのゲートへのアクセスが容易であることから優位性の高い地域です。

また、東名高速道路の袋井 IC を備えるとともに、新東名高速道路の森掛川 IC へも近く、大都市圏である東京へは 240 km、名古屋へは 140 km、京阪神へは 280 km と交通条件に恵まれています。

■大都市圏との広域的な連携・交流



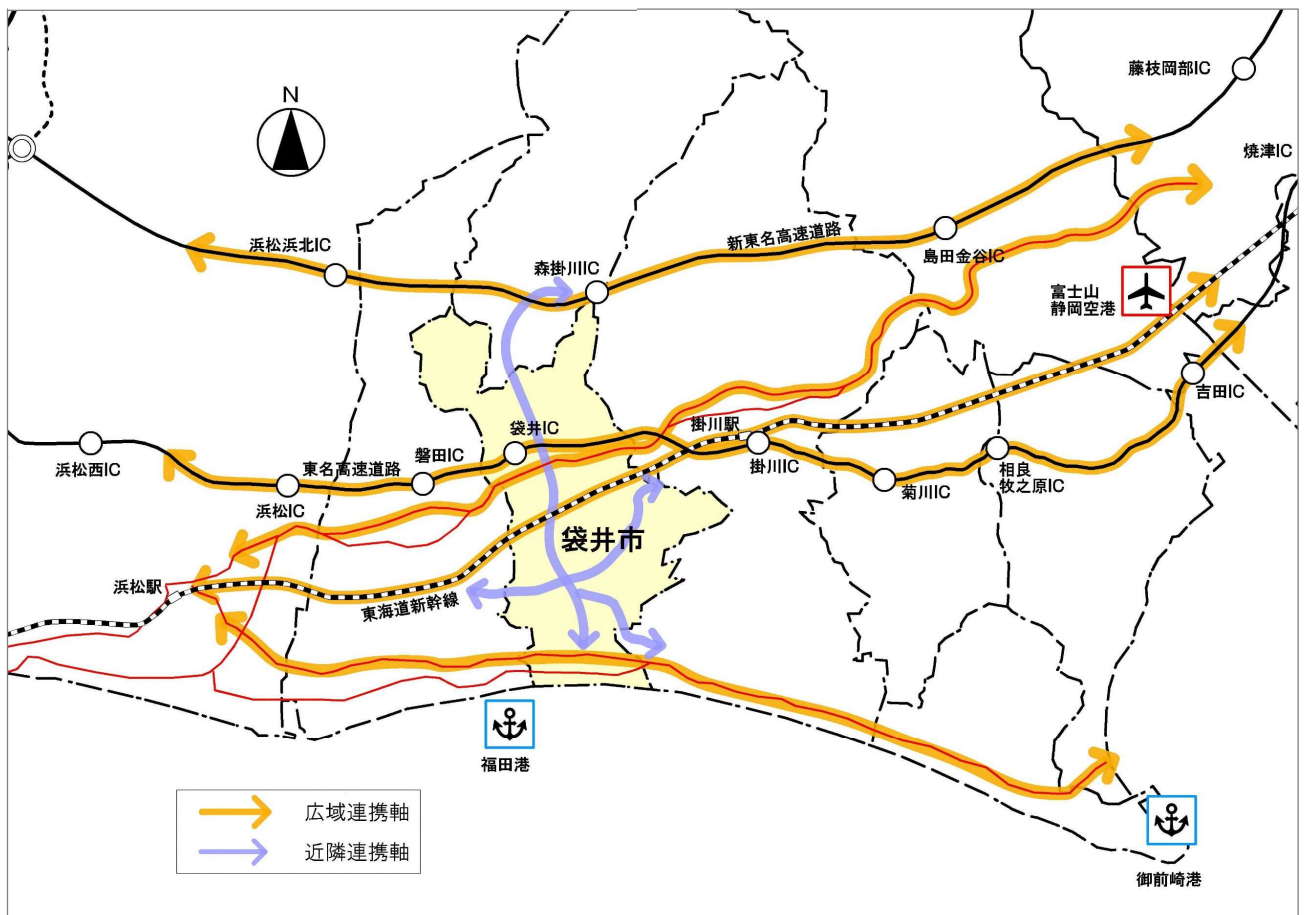
資料：都市計画マスタープラン

2-2. 周辺市町との連携・交流

広域連携軸間や周辺市町を結ぶ（都）森町袋井インター通り線、市道湊川井線、県道磐田掛川線、県道袋井大須賀線等の近隣連携軸は、市内の産業・物流等や周辺市町との連携・交流を支える重要な道路です。

その中でも、東名高速道路袋井 IC と新東名高速道路森掛川 IC・遠州森町スマート IC をつなぐ（都）森町袋井インター通り線の整備が望まれており、高速道路のダブルネットワークが確立されることで、静岡県を支える産業集積地である中東遠地域において、新たな産業立地の促進や地域産業の活性化、交流の促進による市の活性化が期待されています。また、本県の空の玄関口である富士山静岡空港や、広域物流の拠点となる御前崎港等との連携など、様々な分野において広域的な交流が期待されるとともに、多重性の確保による防災面への貢献が期待されています。

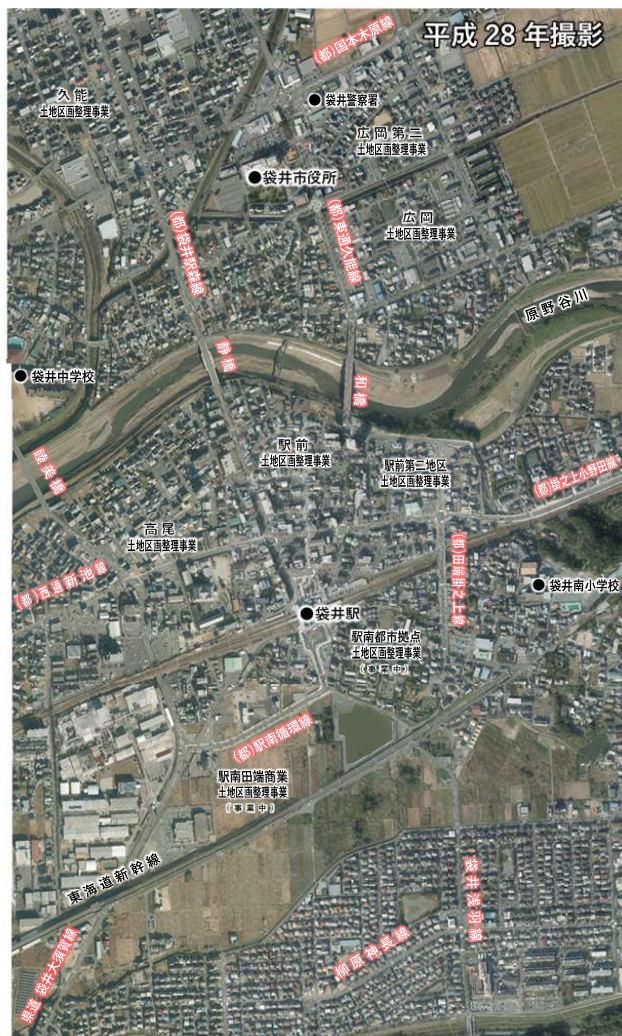
■ 周辺市町との連携・交流



資料：都市計画マスタープラン

3. 航空写真でみるまちの変化

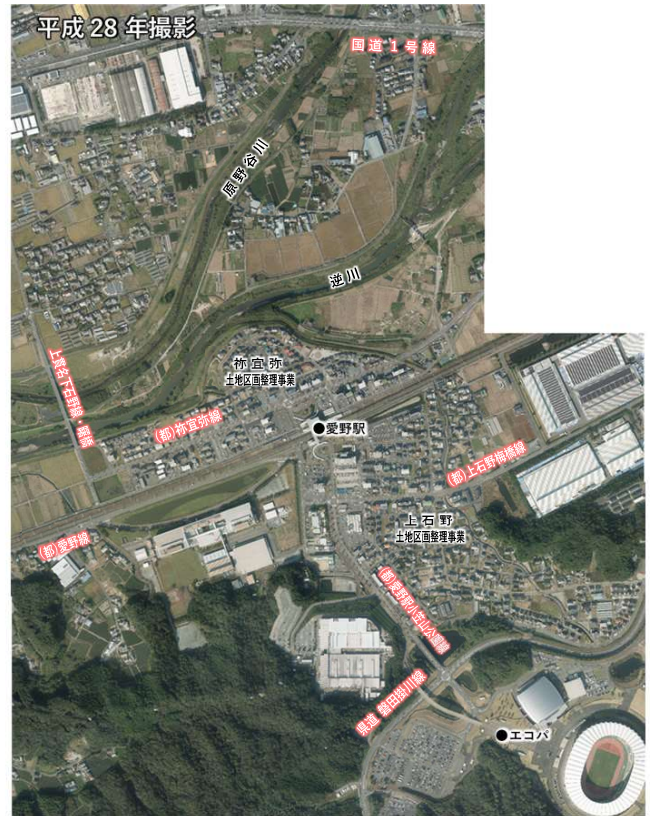
■ 袋井駅周辺



■ 上山梨地区周辺



■ 愛野駅周辺



■ 浅羽支所周辺



